

29日 月曜

創世記

16:1 アブラムの妻サライは、アブラムに子を産んでいなかった。彼女にはエジプト人の女奴隸がいて、その名をハガルといった。

16:2 サライはアブラムに言った。「ご覧ください。【主】は私が子を産めないようにしておられます。どうぞ、私の女奴隸のところにお入りください。おそらく、彼女によって、私は子を得られるでしょう。」アブラムはサライの言うことを聞き入れた。

16:3 アブラムの妻サライは、アブラムがカナンの地に住んでから十年後に、彼女の女奴隸であるエジプト人ハガルを連れて来て、夫アブラムに妻として与えた。

16:4 彼はハガルのところに入り、彼女は身ごもった。彼女は、自分が身ごもったのを知って、自分の女主人を軽く見るようになった。

16:5 サライはアブラムに言った。「私に対するこの横暴なふるまいは、あなたの上に降りかかればよいのです。この私が自分の女奴隸をあなたの懷に与えたのに、彼女は自分が身ごもったのを知って、私を軽く見るようになりました。【主】が、私とあなたの間をおさばきになりますように。」

16:6 アブラムはサライに言った。「見なさい。あなたの女奴隸は、あなたの手の中にいる。あなたの好きなようにしなさい。」それで、サライが彼女を苦しめたので、彼女はサライのもとから逃げ去った。

16:7 【主】の使いは、荒野にある泉のほとり、シェルへの道にある泉のほとりで、彼女を見つけた。

16:8 そして言った。「サライの女奴隸ハガル。あなたはどこから来て、どこへ行くのか。」



Bible Reference
聖書の記述

すると彼女は言った。「私の女主人サライのもとから逃げているのです。」

16:9 【主】の使いは彼女に言った。「あなたの女主人のもとに帰りなさい。そして、彼女のもとで身を低くしなさい。」

16:10 また、【主】の使いは彼女に言った。「わたしはあなたの子孫を増し加える。それは、数えきれないほど多くなる。」

16:11 さらに、【主】の使いは彼女に言った。「見よ。あなたは身ごもって男の子を産もうとしている。その子をイシュマエルと名づけなさい。【主】が、あなたの苦しみを聞き入れられたから。」

16:12 彼は、野生のろばのような人となり、その手は、すべての人に逆らい、すべての人の手も、彼に逆らう。彼は、すべての兄弟に敵対して住む。」

16:13 そこで、彼女は自分に語りかけた。【主】の名を「あなたはエル・ロイ」と呼んだ。彼女は、「私を見てくださる方のうしろ姿を見て、なおも私がここにいるとは」と言ったのである。

16:14 それゆえ、その井戸はベエル・ラハイ・ロイと呼ばれた。それは、カデシュベレデの間にある。

16:15 ハガルはアブラムに男の子を産んだ。アブラムは、ハガルが産んだその男の子をイシュマエルと名づけた。

16:16 ハガルがアブラムにイシュマエルを産んだとき、アブラムは八十六歳であった。

ここにはたくさんの不信仰な行動があります。神の約束を待てずに奴隸との間に子をもうけてしまったこと。妻がそれを提案し、夫が受け入れるというリーダーシップの欠如。みごもったという

ことで、主人を見下す浅はかな態度。それを夫のせいにする責任転嫁。サラをなだめるために責任のがれのように任せてしまうアブラム。本当にそれでいいじめてしまうサラの悲しい人間性。本当に現代に起こりうることが、様々にあります。気をつけなければいけません。

そのような中でも神様は働かれます。性格の悪いハガルにも慈しみを与え、また「身を低く」と謙遜を勧めて、成長させようとしておられます。また子どもにも関しても約束してくださいって安心を与えておられます。

混乱を招くようなことをして計画を進めることはしないようにし、謙遜と忍耐をまず自分から始めましょう。もしも彼らのように失敗しても、いや失敗したからこそ主のあわれみに頼りましょう!。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

